2014（平成 26）年度 法学部自己点検・評価報告書
ラーニング・アウトカムズの測定状況

【１】2014（平成 26）年度の取り組み

法学部は、教育の質保証への取り組みとして、2014（平成 26）年度に以下のことを行った。

（１）　新カリキュラムの導入

従来のカリキュラムを大幅に改善し、３コース制から４コース制に変更して、学生が卒業後のキャリアに必要な能力を身につけることに、より重点をおいた。このカリキュラムにより、少人数制の授業および実務家等による実践的な授業が増加し、また、英語による授業と新たな留学制度が設けられた。これらの科目では、アクティブ・ラーニングが行われる。これら新科目のうち、2014（平成 26）年度は、テーマゼミ、GLP チュートリアルⅠ・Ⅱ、GLP English A・ B、GLP 発展ゼミ(憲法)、Academic Foundations for Peace & Human RightsⅠ・Ⅱ、AF Tutorial Ⅰ・Ⅱが実施された。

（２）　ラーニング・アウトカムズの再検討および細目の作成

新カリキュラムの導入に伴い、これまでに策定されたラーニング・アウトカムズを、法学部ラーニング・アウトカムズ委員会で再検討し、さらにカリキュラムチェックリスト作成のために、ラーニング・アウトカムズの細目の作成に着手した。

（３）ラーニング・アウトカムズの測定

ラーニング・アウトカムズの測定については、現状では、各教員によるセメスターごとの学生の成績の検証、授業アンケートによって行われている。

このほか、ラーニング・アウトカムズの達成度についての学生アンケートなどを実施している教員の紹介などを通じて、多角的にラーニング・アウトカムズの測定をすることを促進している。

【２】今後の方針

（１）カリキュラムチェックリストの作成

今後、法学部では、新カリキュラムについて、ラーニング・アウトカムズの細目を完成し、各科目によりどのラーニング・アウトカムズが達成されるのかを明確にするため、カリキュラムチェックリストを作成する。さらにその後、ラーニング・アウトカムズと就業力との対応関係も明らかにし、学生が必要とする力をつけるためにどの科目を履修すべきかについて指導できる体制を整える。

（２）ラーニング・アウトカムズ測定方法の検討

カリキュラムチェックリストの作成過程において、各科目により達成が期待されるラーニング・アウトカムズが明確になるので、学部全体でラーニング・アウトカムズの達成度を測る評価方法を検討し、実施していく予定である。